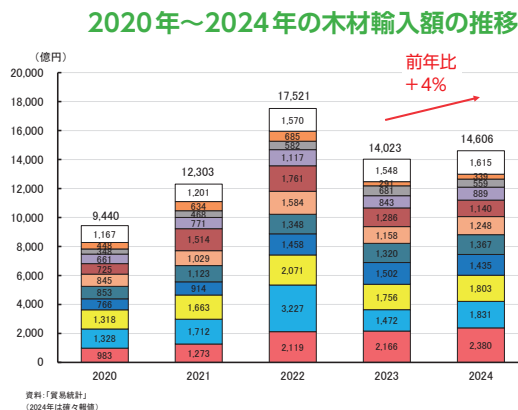


木材輸入の動向について

本稿では、2024年の木材輸入実績及び2025年上半期の木材輸入実績について紹介します。

① 2024年の木材輸入実績

2024年の木材輸入額（HS44類は、前年比4%増の1兆4,606億円でした。国別では第1位は中国、第2位はEU、第3位は中国、第4位は米国となっています。

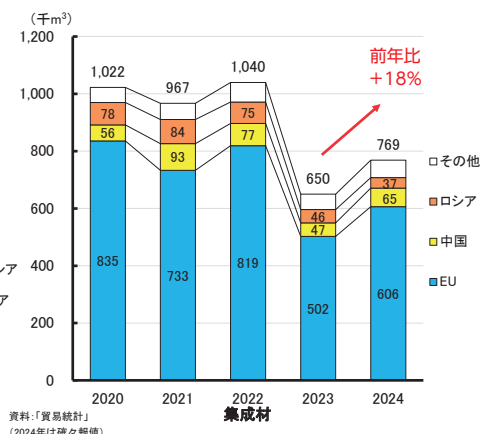
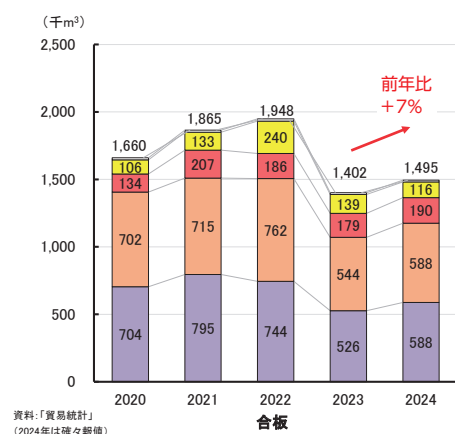
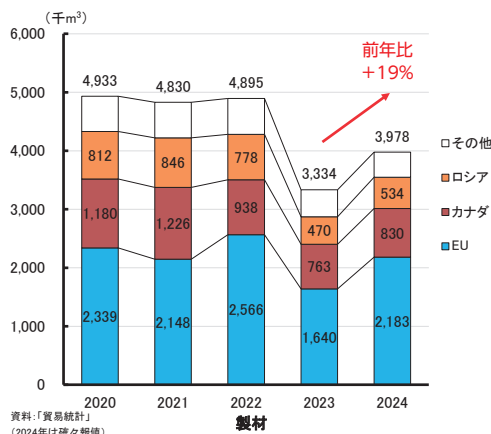
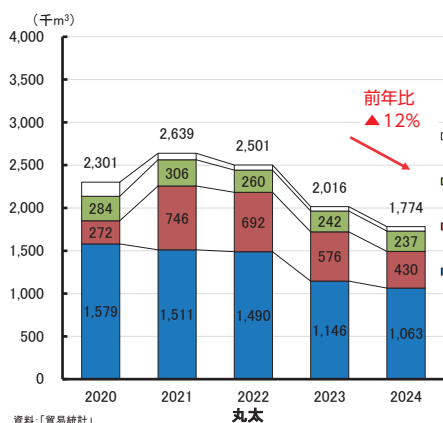


② 2024年の品目別木材輸入実績

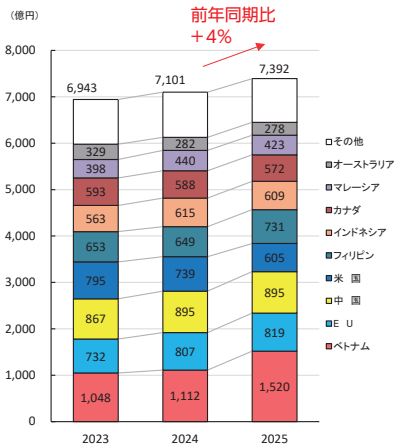
丸太については、2023年8月にベトナム丸太の製材大手が工場火災により減産したことから、輸入量が減少しました。製材については、過剰在庫の調整等により2023年に大幅に減少した反動から、前年比19%増と増加しました。合板については、インドネシアやマレーシアからの輸入量が2023年に減少した反動等により増加しました。集成材については、製材と同様に、過剰在庫の調整等により2023年にEUからの輸入量が大幅に減少した反動から増加しました。木質ペレットについては、F・T・F・P制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働により、国内需要が高まっていることから、特にベトナムからの輸入量が増加しています。

丸太については、2023年8月にベトナム丸太の製材大手が工場火災により減産したことから、輸入量が減少しました。製材については、過剰在庫の調整等により2023年に大幅に減少した反動から、前年比19%増と増加しました。合板については、インドネシアやマレーシアからの輸入量が2023年に減少した反動等により増加しました。集成材については、製材と同様に、過剰在庫の調整等により2023年にEUからの輸入量が大幅に減少した反動から増加しました。木質ペレットについては、F・T・F・P制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働により、国内需要が高まっていることから、特にベトナムからの輸入量が増加しています。

2020年～2024年の品目別木材輸入量の推移（丸太、製材、合板、集成材、木質ペレット）



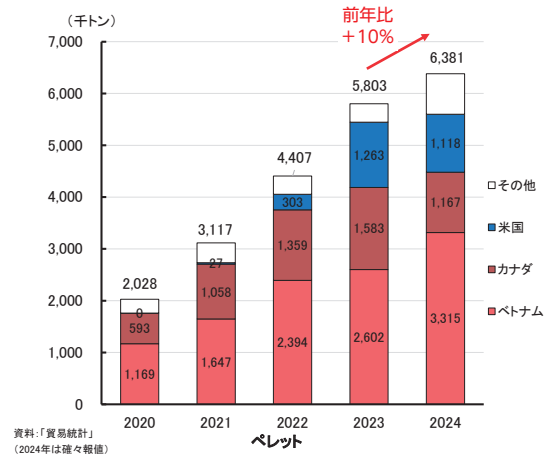
2023年～2025年の 上半期における木材輸入額



資料:「貿易統計」

2025年上半期(1～6月)における木材輸入額は2024年同期比で4%増となっています。国別では2024年上半期と同様に第1位はベトナム、第2位は中国、第3位はE Uとなっています。

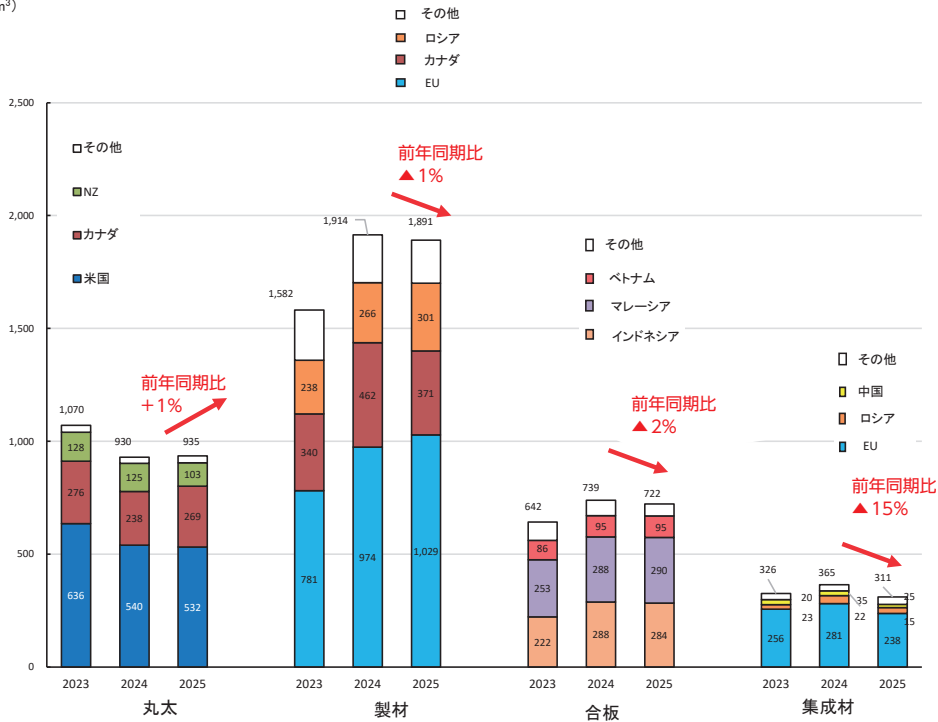
③ 2025年上半期の 木材輸入実績



資料:「貿易統計」
(2024年は確々報値)

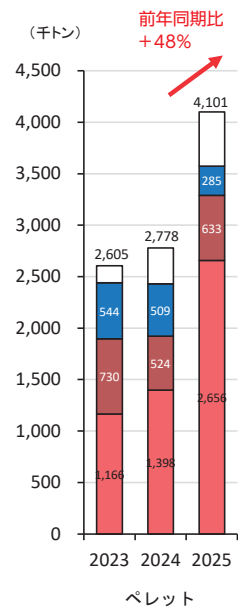
2023年～2025年の上半期における品目別木材輸入量(丸太、製材、合板、集成材、木質ペレット)

(千m³)



資料:「貿易統計」

(千トン)



林野庁では、今後も引き続き、米国関税措置による影響など木材輸入の動向を注視してまいります。

おわりに

木質ペレットについては、最大の輸入先であるベトナムからの輸入量が増加しています。

集成材については、国産材への転換等により輸入量が減少しています。

製材については、全体的には2024年上半期とほぼ同量であるものの、E Uに次ぐ輸入先のカナダからの輸入量は20%減となっています。カナダは米国にとって最大の木材輸入先であり、今後の対米関係がカナダ国内産業に与える影響も注目されます。

丸太と合板については、輸入の全体量も国別の割合も2024年上半期と比べて大きな変化はありません。なお、丸太については、最大の輸入先である米国からの輸入量が、4月(138千m³)、5月(69千m³)、6月(112千m³)と変動が大きくなっています。

製材については、全体的には2024年上半期とほぼ同量であるものの、E Uに次ぐ輸入先のカナダからの輸入量は20%減となっています。カナダは米国にとって最大の木材輸入先であり、今後の対米関係がカナダ国内産業に与える影響も注目されます。

集成材については、国産材への転換等により輸入量が減少しています。

木質ペレットについては、最大の輸入先であるベトナムからの輸入量が増加しています。

④ 2025年上半期の 品目別木材輸入実績